

1 基本項目	事務事業名	老人クラブ事業			担当部署	課名	社会福祉課	
	予算事業名	老人クラブ事業				係名	高齢福祉係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1007		
	事業期間	開始年度	昭和35年度以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち			算科目	款	民生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	社会福祉費
		施策名	26 豊かな長寿社会の実現				目	老人のための明るいまち推進事業
基本事業名		26-1 社会参加の促進			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	魚津市老人クラブ連合会及び単位老人クラブの活動を支援する。	
	対象	60歳以上で、単位老人クラブに加入する者	
	手段 (活動指標)	魚津市老人クラブ連合会へ健康づくり事業、ボランティア事業、世代交流事業等の各種事業を委託し、単位老人クラブに対してはボランティア活動・生きがいを高める活動・健康づくり活動などの事業実施のために助成金を交付。	
	意図 (成果指標)	単位老人クラブに加入する高齢者が健康を維持し、生きがいを見つけることができる。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 老人クラブ会員数	人	5,700	5,270	5,700
成果指標	② 単位老人クラブ数	数	90	83	90	79	87.8%	80
	③							
	① 加入率	%	34.3	31.7	34.3	30.2	88.0%	30.1
②								
③								

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	① 需用費	円			
② 委託料	円							
③ 工事請負費	円							
④ 負担金補助及び交付金	円	5,741,000		5,351,000	5,446,000	5,121,792	-4.3%	5,339,000
⑤ その他	円							
支出合計 (A)		円	5,741,000	5,351,000	5,446,000	5,121,792	-4.3%	5,339,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	3,325,000	3,087,000	3,161,000	2,951,000	-4.4%	3,089,000
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	2,416,000	2,264,000	2,285,000	2,170,792	-4.1%	2,250,000
収入合計		円	5,741,000	5,351,000	5,446,000	5,121,792	-4.3%	5,339,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	2	2	1	-50.0%	1
	② 年間所要時間	時間	300	320	320	400	25.0%	400
	③ 人件費 (②×@ 4,200円) (B)	円	1,260,000	1,344,000	1,344,000	1,680,000	25.0%	1,680,000
総費用 (A+B)		円	7,001,000	6,695,000	6,790,000	6,801,792	1.6%	7,019,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○魚津市老人クラブ連合会へ健康づくり事業、ボランティア事業、世代交流事業等の各種事業を委託した。 老人クラブ大会の開催：平成26年5月23日（金）新川文化ホール、281名参加	
	○広報誌「老悠連」を年2回発行	
	○単位老人クラブに対してボランティア活動・生きがいを高める活動・健康づくり活動などの事業実施のために助成金を交付した。 補助金説明会の開催：平成26年4月7日（月）市役所大会議室、79単位老人クラブ参加	
	○平成26年度から、45名以上50名未満の単位老人クラブには、補助金額を減額して支給するした。 45名以上50名未満 3,880円×12ヶ月分=46,560円 50名以上 (3,880+400)円×12ヶ月分=51,360円	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
		妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
有効性	B	B	目的の妥当性	1 妥当である		
			対象の妥当性	1 妥当である		
			目標達成度	2 目標どおり		
効率性	B	B	類似事業の有無	1 なし		
			上位施策への貢献度	2 普通	老人クラブ活動全体の底上げが必要である。	
			コスト効率	2 普通		
1次評価 (課長総括)	B	B	実施主体の適正化	1 適正である		
			負担割合の適正化	1 適正である		
			補助率及び上限額について見直す余地あり	2次評価	不要	
後の方針 (評価結果)	高齢者人口の増加に反して老人クラブの加入率が低下している。老人クラブ連合会と連携しながら、魅力ある老人クラブづくりを進めていく必要がある。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	高齢者生きがい事業			担当部署	課名	社会福祉課		
	予算事業名	高齢者生きがい事業				係名	高齢福祉係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1007			
	事業期間	開始年度	昭和60年以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				算科目	款	民生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築					項	社会福祉費
		施策名	26 豊かな長寿社会の実現					目	老人のための明るいまち推進事業
		基本事業名	26-1 社会参加の促進					アウトソーシング導入状況 導入済（指定管理者制度）	
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	高齢者が生きがいをもって積極的に地域活動に参加するための事業を行う。主な事業は、老人趣味の家管理、ねんりんピック等の全国大会参加への助成金の支給など。平成26年度からは、高齢者の生きがいづくりの拠点施設として、魚津市高齢者いきいきセンターを設置し、指定管理者制度における運営を開始した。	
	対象	おおむね60歳以上の元気高齢者	
	手段 (活動指標)	老人趣味の家の管理運営と陶芸教室を開催し、成果発表の場の提供を行う。 魚津市高齢者いきいきセンターの運営を開始し、高齢者の生きがいづくりの機会創出を図る。	
	意図 (成果指標)	高齢者の生きがい事業を実施することにより、高齢者が積極的に地域活動に参加し、住み慣れた地域で元気に暮らすことができる。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 陶芸教室活動日数	日	35	35	35	46	131.4%	46
	② 全国大会参加種目	件	2	1	2	1	50.0%	2
	③ 魚津市高齢者いきいきセンター利用者数	人						
	① 陶芸教室実施率	%	100	100	100	131	131.0%	100
	② 全国大会参加者数	人	10	1	10	1	10.0%	10
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	373,000	185,335	280,000	171,738	-7.3%	233,000
	② 委託料	円	30,000		1,200,000	603,800		1,700,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	608,000	120,685	1,100,000	1,006,900	734.3%	100,000
	支出合計 (A)	円	1,011,000	306,020	2,580,000	1,782,438	482.5%	2,033,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円			1,900,000	1,900,000		
	⑤ 一般財源	円	1,011,000	306,020	680,000			2,033,000
	収入合計	円	1,011,000	306,020	2,580,000	1,900,000	520.9%	2,033,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	2	1	3	50.0%	3
	② 年間所要時間	時間	400	540	540	500	-7.4%	500
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,680,000	2,268,000	2,268,000	2,100,000	-7.4%	2,100,000
	総費用 (A+B)	円	2,691,000	2,574,020	4,848,000	3,882,438	50.8%	4,133,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○老人趣味の家の管理運営、陶芸教室運営、成果発表の場の提供を継続的に行った。	
	○角川ダム公園施設内のゲートボール場休憩小屋を撤去した。	
	○国交付金を活用して、魚津市高齢者いきいきセンターを建設した。	
○指定管理者制度により魚津市高齢者いきいきセンターの運営を開始した。		

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である		
目的の妥当性				1 妥当である			
対象の妥当性				1 妥当である			
有効性	B	A	目標達成度	2 目標どおり			
			類似事業の有無	1 なし			
			上位施策への貢献度	1 高い			
効率性	B	B	コスト効率	2 普通			
			実施主体の適正化	1 適正である			
			負担割合の適正化	1 適正である			
	1次評価 (課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針 (評価結果及び今)	働く場と趣味の場機能を併せ持つ高齢者の生きがいづくり機能を集約した施設（高齢者いきいきセンター）利活用を推進する。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	就業機会確保事業		担当部署	課名	社会福祉課	
	予算事業名	就業機会確保事業			係名	高齢福祉係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1007		
	事業期間	開始年度	昭和63年	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち		予会計	一般会計	
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築		款	民生費	
		施策名	26 豊かな長寿社会の実現		項	社会福祉費	
基本事業名		26-1 社会参加の促進		目	老人のための明るいまち推進事業		
根拠法令				アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	高齢者の就業支援を行うシルバー人材センターの活動に対して補助金を交付し、生きがいづくりや社会参加の促進を支援する。
	対象	おおむね60歳以上の元気高齢者
	手段 (活動指標)	シルバー人材センターの就業活動に対する補助金
	意図 (成果指標)	高齢者が労働・作業に従事することにより、生きがいをみだし、健康な状態を保つことができる。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 補助金額	千円	8,500	8,500	8,500	8,500	100.0%	8,500
	②							
	③							
成果指標	① シルバー人材センター登録者数(3月末現在)	人	540	449	550	451	82.0%	500
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	8,550,000	8,550,000	8,550,000	8,550,000	0.0%	8,550,000
	⑤ その他	円						
	支出合計(A)	円	8,550,000	8,550,000	8,550,000	8,550,000	0.0%	8,550,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						2,200,000
	⑤ 一般財源	円	8,550,000	8,550,000	8,550,000	8,550,000	0.0%	6,350,000
	収入合計	円	8,550,000	8,550,000	8,550,000	8,550,000	0.0%	8,550,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	② 年間所要時間	時間	20	20	20	200	900.0%	200
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	84,000	84,000	84,000	840,000	900.0%	840,000
	総費用(A+B)	円	8,634,000	8,634,000	8,634,000	9,390,000	8.8%	9,390,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○シルバー人材センターに対する補助金を交付した。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	
目的の妥当性					1 妥当である		
対象の妥当性					1 妥当である		
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり		
				類似事業の有無	1 なし		
				上位施策への貢献度	2 普通		
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通		
				実施主体の適正化	1 適正である		
				負担割合の適正化	1 適正である		
	1次評価 (課長総括)	B	B	補助率及び上限額について見直す余地あり	2次評価	不要	
	後の方針 (評価結果)	シルバー人材センターに新たな事業を委託することで、元気な高齢者が楽しく社会活動に参加することができ、生きがいをもち、住み慣れた地域で元気にいつづけることができる。				評価結果	